

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズボンド竹鼻					公表日	2025年 12月 20 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・学習室、活動室の広さは十分にある。 ・活動室のマット、ハンモックの使用を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習室と活動室の間に小窓を作ったらどうか ・混雑しやすい時間帯には動線が重なりやすいため、空間の活用方法を見直していきたい。 			
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・急な変更にも対応できる配置はできている。 ・職員は児童2名に対して約1名の配置になっている。 	個別支援が重なる時間帯で、より細やかな対応ができる環境を整えたい。			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・来所してトイレや手洗いを済ませるための動線が確保されている。 ・玄関外の段差以外はバリアフリー。学習室、活動室と分けられ構造化されている。 ・安全第一に配置の変更、撤去を行っている。 	初めての児童や見通しを持ちにくい児童にとっても、より分かりやすい環境となるよう、掲示物やゾーニングの工夫をさらに深めていきたい。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	2	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の清掃、ハンモックなど定期的に洗濯。 ・落ち着いて過ごす学習室と活発に動ける活動室がある。 ・学習室の床マットの汚れが気になる。 ・机やいすの老朽化が気になる。 ・安全計画に沿っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机やいすは安全に使用する為、交換、購入を検討。 ・活動後の切り替え時に環境が乱れやすい場面が見られるため、子どもと協力して取り組む片付けルーティンを今以上に確立していくと良いかもしれません。 			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	2	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて職員室や相談室でクールダウンを行うことがある。 ・フロアマットやジョイントマットで場所を作る。 ・児童が癪癩を起したときなどクールダウンできる場所で職員が付き添っている。 	細かくフレキシブルに仕切れるパーテーションがあるとよいかかもしれない。			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ前ミーティング、支援後に話し合いを行っている。 ・児童達が帰った後、職員同士で当日にあつた支援などについての共有をしている。 	受け入れ前MT同様、短時間で参加しやすいミニMTなど実施してもよいかもしれません。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・1年に1回評価表を配布し、意向等を伺っている。 	送迎時に把握した意向等についても、より正確に受け止められるようにしたい。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ前ミーティング、職員会議でだれでも発言できる機会がある。 ・ほぼ毎日、意見交換がある。 ・普段からコミュニケーションを取っている ・意見を発しやすい雰囲気がある。 	簡易メモや短時間の意見交換の場を取り入れるなど、これまで以上に、意見を集めて改善につなげる仕組みづくりをしていきたい。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価は行っていない。 				
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に社員研修があり、必要に応じて外部研修を受けている。 ・児童の支援方法がわかる。 	職員同士でも事例の共有を行ない、学びの機会を増やしていきたい。			
支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・HPで公表している。 				
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と半年に1回モニタリングを行い、その中でニーズ等の確認をしている。 ・複数の職員がアセスメントを行うことで多くの視点から適切な支援計画を立てようとしている。 	アセスメントの質向上に向け、記録方法や情報共有の工夫を進めたい。			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・Vineland-IIを行ったり、ASISTなどは複数の職員で行う。Vineland-IIやASISTの結果に基づき意見交換している。 	アセスメント内容の事前共有や短時間打合せの機会を増やし、十分に検討できる体制づくりを図りたい。			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・パート職員の目にもつくよう工夫されている。 ・個人記録とセットにし、いつでも確認ができるようとしている。 ・自分が時々、計画に沿っていない支援をした。 	職員会議をもう少し実施し、全体の共有ができるとよい。			
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ASIST、Vineland-IIを使用している。また個人記録を毎日記録紙確認している。 ・日々、気になることは管理者に報告している。 				

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	・個々の児童の状況、利用日数などの現状にも配慮し、実現可能な範囲をSVを受けながら必要な支援内容を設定している。 ・自分が支援計画をしっかりと把握できていなかつたことが多い。	職員間で確認項目を統一し、児童ごとの支援内容をより具体的に設定できるよう取り組みたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	・担当者を中心に必要に応じて話し合っている。いろいろな人の意見を取り入れている。 ・発表前に複数名でチェックしている。	職員間でのアイデア共有や、短時間ミーティングをさらに充実させていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	・同じプログラムでも創意工夫している。 ・担当者を変えたり、児童の意見を取り入れている。	季節行事や児童の興味を取り入れ定期的に検討し、プログラムの幅を広げていきたい。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・必要に応じて個別の対応を行ったり、道具の作成、購入も行っている。 ・個別課題をカテゴライズ化パターン化していない。	児童の当日の状態や興味を共有する仕組みを整え、計画への反映をさらに丁寧に行なえるようにしたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1	・開始前、ミーティングができなかったことがあった。 ・注意点や流れを共有している。 ・LINEにて児童の情報や保護者の要望が共有されるので、その日、勤務していない職員にとってはありがたい。	事前チェックリストにより、支援内容の確認も一層確立させていたら良いかもしれない
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・職員間でその日にあったことや気になったことなど話すようにしている。 ・児童に関する1日の話を共有している。	気づきの要点を簡潔に整理できる仕組みを整え、より継続的に支援改善へ生かせる体制づくりを進めたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	・毎日、記録をしている。 ・臨機応変に対応できている。 ・毎日の支援記録や行事記録により支援内容の改善点を探っている。	記録内容の整理方法を工夫し、検証結果をより計画的な支援改善につなげていきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・定期的にモニタリングを行い、家庭での様子を伺いながらニーズや課題を把握している。	得られた気づきを職員間でより共有しやすく整理し、計画の見直しに一層反映しやすい仕組みづくりを進めたい。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・主に児発管が参加し、児発管が参加できない時は他の職員が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・事業所での様子を保護者様を通して伝えられている。	情報整理の方法を工夫し、必要な支援内容がより確実に共有されるようにしていきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	0	・発達支援センターの研修に参加することもある ・福祉課担当に助言を受けたり、連絡会議などに参加している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	4	2	・公園等で遊ぶお出かけなど地域の児童とのかかわりが持てる時もある。 ・園との交流はない。	児童の興味や特性に合わせて、地域での活動先の選択肢を広げられるようにしたい。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・送迎時、連絡帳、LINE、モニタリング時に状況などを伝え合っている。	児童の変化をより丁寧に取得できるよう、情報交換の機会や方法を充実させたい。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	・ご家庭との対応が個々に難しい。 ・ご家族の参加できる研修の機会がない。	保護者が必要な情報にアクセスしやすいよう身近で実践的な支援情報を日常的に共有できる工夫を進めたい。
保護者	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・契約時に説明を行っている。 ・契約時の説明のほか、質問にも応じている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・モニタリングなどの機会に保護者様のニーズを確認している。	意向確認の機会をさらに工夫し、より丁寧に反映できる体制づくりを進めたい。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	・必要に応じて質問に答えたり、わかりやすい内容の計画を立て、送迎時などに支援内容の説明を行い同意を得ている。	保護者がより理解しやすい提示方法や振り返りの機会を工夫し、同意形成をより丁寧に進めたい。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・モニタリング時や送迎時、LINEでの相談にも応じている。 ・書面でのやり取り（学校、病院）や心理師との面談の機会を作っている。	保護者がより相談しやすい場や情報共有の方法を増やし、より安心して悩みを話せる環境づくりを進めたい。

説明等 者へ の 説 明 等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7	・検討しているが、実現できていない。	KBグループの他教室の保護者会の開催などを参考に開催していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・支援に直接かかわる情報は迅速に周知対応するようとしている。	記録様式の整備や周知方法の見直しを進めることで、保護者がより安心して意見を伝えられる体制づくりを進めていきたい。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	・毎月、通信と予定表の発行を行い、毎日SNS（フェイスブック、インスタ）で発信している。	保護者が必要な情報をより見つけやすく整理し、伝わりやすい形で発信する工夫を進めていきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・個人ファイルなど書庫で施錠管理している。	職員間での確認体制をさらに見直し、より安全性の高い管理体制を整えていきたい。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	・写真やジェスチャーを使用するなど配慮している。	児童の特性に合った、より多様な伝え方の工夫を進めていきたい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	・地域住民を招待するイベントは行っていない。 ・活動で地域のごみ拾いを行っている。	できる範囲で地域への情報発信など開かれた運営を進めたい。 地域との交流の場をもう少し具体的にするとよい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・マニュアルを策定し、毎月、避難訓練を行っている。一つのファイルにまとめ、いつでも見ていたけるようにしている。	各種マニュアルの内容をより実践に即したものに更新し、職員全体で共有する研修機会を増やしていきたい。
非常時 等の 対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・BCPを策定している。毎月1回、避難訓練を実施している。	マニュアルの要点を現場で確認しやすい形に整理し、迅速な行動につなげていきたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	・インターク時に情報収集を行っている。	日々の変化も把握できるよう、職員間で共有方法をさらに整備していきたい。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	・医師より指示されている保護者より情報をいただき対応をしている。 ・職員全員にわかるように掲示されている。	定期的な確認と更新の流れをより整備し、周知方法の見直しにも取り組んでいきたい。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	・安全計画を作成している。	職員への周知や定期的な訓練など、しっかりと行つていきたい。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	・毎月の通信に取り組み、内容を載せて報告している。	保護者がより理解しやすい形で伝わるよう、周知方法の工夫を今後検討していきたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	・受け入れ前ミーティングや職員グループLINEにて共有し再発防止案を検討している。	検討内容をより体系的に残せる仕組みづくりについて今後検討していきたい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・虐待防止の研修を定期的に行っている。	日々の支援場面での気づきを共有する機会をさらに増やし、職員全体で理解を深めたい。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	・個別支援計画書に記載したり、同意書をいただいたりしている。	職員間で具体的な判断基準の共有をより丁寧に行い、保護者への説明方法も分かりやすく工夫していきたい。